

第205期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社第205期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年4月1日、私、烏田克彦が新しく代表取締役社長に就任いたしました。甚だ微力ではありますが、さらなる社業の発展に向け、鋭意努力する所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続きました。しかし、先行きについては感染症の拡大防止に努めつつ、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに留意が必要となります。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移していますが、一方で民間の建設投資は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、弱含みの状況となりました。当社の状況といたしましては、感染症防止策を徹底したことで国内の手持ち工事はほぼ中断することなく進捗しました。海外では、感染症拡大防止のため工事を一時中断することもありましたが、現在は全ての工事が稼働しています。

このような事業環境のもと、創業140周年に向けての新たなスタートにあたり、「サステナビリティの追求」を基本方針とした長期ビジョンを策定しました。当社は3つの持続性（市場での持続性、組織の持続性、社会の持続性）を追求することで「すべてのステークホルダーの期待に応えられる企業」を目指します。

その第1期となる新しい「中期経営計画（2021年度－2023年度）」では、長期ビジョンをバックキャストする実施計画として、事業基盤の強化とESG経営の推進に全社一丸となって取り組み、企業価値の向上を図ってまいります。

本計画の概要は以下のとおりであります。

【中期経営計画（2021年度－2023年度）】

○基本方針

「サステナビリティの追求 ～創業140周年に向けて～」

○基本戦略

すべてのステークホルダーの期待に応えられる企業へ

1. 事業基盤の強化

- ・顧客ニーズに応えられる企画・提案力の強化
- ・生産性の向上
- ・人的資源の充実
- ・財務体質の強化

2. ESG経営の推進

E（環境）

- ・再生可能エネルギー分野への注力
- ・建設工事でのCO₂削減
- ・ブルーカーボンなど、海洋環境改善への取り組み

S（社会）

- ・安全かつ良質なインフラの提供
- ・アフターコロナにおける働きがいのある職場環境
- ・建設業を担う人材の育成

G（ガバナンス）

- ・協力会社との共生
- ・地域社会への貢献
- ・新様式をふまえたリスクマネジメント
- ・ガバナンスの強化
- ・コンプライアンスの徹底
- ・IRの強化

今後の事業環境につきましては、国土強靱化政策など引き続き社会資本整備は堅調に推移すると想定され、民間設備投資におきましても長期的には都市圏を中心として需要の回復も見込まれています。

しかし一方、将来的には建設就労者の減少が懸念され、週休二日の実現を含めた働き方改革、生産性の向上、担い手確保などが業界全体の喫緊の課題となっています。

これらの課題の解決に邁進し、また、気候変動や資源不足、人口構造の変化等に伴う社会的な課題の解決に向けて積極的に取り組むなど、社会価値（ESG・SDGs）と経済価値を包括した経営を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長 烏田克彦

営業の概況

営業の経過および成果

当社は業績の向上に努めてまいりましたが、受注高は前期比7.5%減の884億円となりました。売上高につきましては、完成工事高が前期比17.5%減の859億円で、不動産売上高8億円と開発事業等売上高2億円を加えまして、前期比16.9%減の870億円となりました。この結果、次期繰越高は前期比2.8%増の808億円となりました。

損益につきましては、主に完成工事高が減少したことおよび過去に完成、お引渡しをしたマンションの施工不良への対策として建替え費用を完成工事原価として

計上したことにより、営業利益は前期比45.4%減の24億円、経常利益は前期比38.1%減の26億円、当期純利益は前期比40.7%減の16億円となりました。

財産の状況につきましては、短期借入金および長期借入金の増加により、有利子負債は前期比48.1%増の178億円、総資産は前期比7.0%増の876億円となりました。また、純資産につきましては、主に当期純利益により前期比3.6%増の308億円、自己資本比率は35.2%となりました。

部門別受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

| 区 分 | 前期繰越高 | 当期受注高 | 当期売上高 | 次期繰越高 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 建設事業 | 海上土木 | 14,566 | 32,918 | 29,542 | 17,941 |
| | 陸上土木 | 37,769 | 38,957 | 37,077 | 39,649 |
| | 建築 | 26,290 | 15,818 | 19,352 | 22,756 |
| | 計 | 78,626 | 87,694 | 85,972 | 80,348 |
| 不動産事業 | — | — | 829 | — | |
| 開発事業等 | 47 | 753 | 289 | 511 | |
| 合計 | 78,673 | 88,447 | 87,091 | 80,859 | |

当期中の主な受注工事

| 発注者 | 工事名 | 工事場所 |
|-------------|--------------------------------|------|
| 国土交通省 | 東京国際空港C滑走路他地盤改良工事（その3） | 東京都 |
| 防衛省 | 横須賀（2）宿舍改修建築その他工事 | 神奈川県 |
| 横浜市 | 新本牧ふ頭建設工事（その10・外周護岸B-1基礎及び本体工） | 神奈川県 |
| 西日本高速道路株式会社 | 高知自動車道 川口第一橋他1橋耐震補強工事 | 高知県 |
| 芙蓉総合リース株式会社 | ユニクロ折尾店新築工事 | 福岡県 |

当期中の主な完成工事

| 発注者 | 工事名 | 工事場所 |
|-----------------------|-------------------------------|------|
| 国土交通省 | 仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁（-14m）基礎（改良）工事 | 宮城県 |
| 東京都 | 綾瀬川護岸耐震補強工事（その253） | 東京都 |
| 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 北陸新幹線、能美西任田高架橋 | 石川県 |
| 西日本鉄道株式会社 | （仮称）香椎照葉5丁目計画B棟分譲事業新築工事 | 福岡県 |
| 積水ハウス株式会社 | （仮称）品川区東五反田五丁目計画新築工事 | 東京都 |

Topics

若松港（洞海湾）のPR活動

洞海湾に残存する当社が建設した石積護岸や当社所有の「出入船舶見張り所跡」および「測量基準点」は、「若松港築港関連施設群」として令和元（2019）年度の選奨土木遺産に認定されました。

選奨土木遺産制度は、公益社団法人土木学会が歴史的土木建造物の保存に資することを目的として平成12（2000）年度に創設した制度で、近代（幕末から昭和20年代）に完成した土木構造物が対象となっています。

今回、北九州市民の皆様へ選奨土木遺産の認定を広めるとともに、明治時代に計画され、遂行された若松港（洞海湾）開発の歴史を知ってもらうため、出入船舶見張り所跡の改修および選奨土木遺産PR看板の設置を行いました。また、北九州市と連携し、認定された全6施設に案内板を設置しました。

今後も、わかちく史料館の運営を通して、若松港の歴史や魅力をPRし続けてまいります。



改修した出入船舶見張り所跡



本店に設置したPR看板



「若松港築港関連施設群」（全6施設）

- ①東海岸係船護岸
- ②東海岸通護岸
- ③測量基準点
- ④出入船舶見張り所跡
- ⑤若松南護岸物揚場
- ⑥弁財天上陸場



設置した案内看板

Technology

吊荷回転制御装置「水中ジャイロ」、水中遠隔玉外し装置 ～潜水作業の省人化・省力化、水中作業の安全性の向上に貢献～

【吊荷回転制御装置「水中ジャイロ」】

■概要

本装置は、クレーンによる揚重作業において、気中および水中の吊荷の水平回転を遠隔制御する装置です。装置内部のフライホイールを高速回転させることで発生する「ジャイロ効果（物体が高速回転すると姿勢が乱されにくくなる現象）」を利用して吊荷の水平回転を制御し、作業員がタブレットにて陸上（または船上）から遠隔で操作します。

- ・特許出願中、NETIS登録（KTK-210001-A）

■特徴

- ・吊荷が気中にあり操作者が視認できる場合は、吊荷を目視確認しながら操作します。
- ・吊荷が操作者から視認できない水中にある場合は、装置に内蔵した方位計の値を確認しながら操作します。
- ・水中の潜水士が吊荷を視認できる場合、潜水士の誘導で回転させることもできます。
- ・325t \cdot mの慣性モーメントおよび高精度方位計により、潮流のある場所での据付においてもブロックの向きを制御できるため、設計どおりの向きに正確にブロックを回転させることが可能となり、施工性が向上します。
- ・潜水士は介錯ロープをもつ必要がないため、吊荷に近づくことがないので、安全性が向上します。

【水中遠隔玉外し装置】

■概要

本装置は、コンクリートブロックなどの吊荷を水中に据え付けた後、遠隔で玉外しできる装置です。潜水士による玉外しがないため、安全に寄与します。

- ・特許登録（特許第6765242号）

■特徴

- ・フックにはラッチロック式を採用しています。ラッチロック式は、一度荷重が掛かると外れ止めにロックが掛かります。そのため吊荷が着底して荷重が抜けても、玉掛ワイヤーが不用意に外れることがなく、据付のやり直しが可能です。
- ・ロックの解除は人の手指ではなく遠隔操作で行うため、吊荷に潜水士が近づく必要がなく、安全性が向上します。

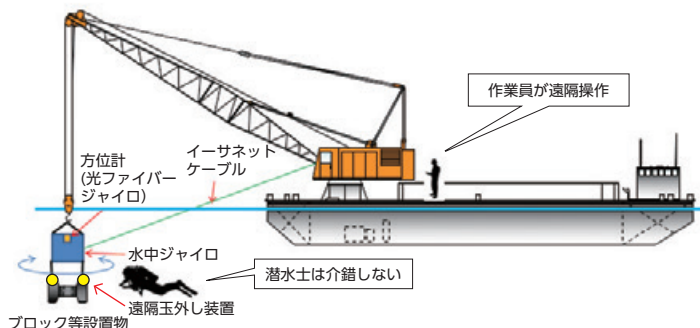
【2つの装置を組み合わせる運用】

「水中ジャイロ」と「遠隔玉外し装置」を組み合わせ、さらにICT技術として普及している「水中可視化技術」や「水中位置測位技術」を併用すれば、厳しい労働環境や少子高齢化の影響で担い手不足が懸念されている潜水作業の省人化、省力化が図れ、水中作業の安全性が向上します。

【運用実績】

「水中ジャイロ」：那覇港（浦添ふ頭地区）防波堤（浦添第一）（災害復旧）築造工事

「遠隔玉外し装置」：那覇港（浦添ふ頭地区）防波堤（浦添第一）築造工事



「水中ジャイロ」、「遠隔玉外し装置」を使用した海中へのブロック据付イメージ



「水中ジャイロ」での海上へのブロック運搬



「遠隔玉外し装置」の実験状況

完成工事紹介

秋田港飯島地区岸壁（-11m）（改良）（耐震）地盤改良工事（その2）

【発注者：国土交通省】

本工事は、秋田港飯島地区の-11m岸壁を将来的な洋上風力発電事業の主要ヤードとして使用するため、既設岸壁背面の地盤改良を行い、地耐力を強化するものです。

工事内容としましては、地盤改良を行うために影響がある範囲の既設構造物を撤去し、軟弱地盤を置換工法と表層混合処理工法により改良しました。

ケーソン背面の裏込石の撤去作業が、陸上からの作業では困難になり、着工が大幅に遅延しましたが、起重機船と硬度盤バケットによる海上からの工法に変更した結果、施工が可能になり工期を遵守することができました。



湯浅御坊道路 湯浅工事

【発注者：西日本高速道路株式会社】

本工事は、湯浅御坊道路（御坊IC～有田IC間）の4車線化事業のうち切盛土工（延長1,279m）および橋梁下部工（11ヶ所：343m）を含む延長1,622mの土木工事です。

高速道路の2車線分を拡幅する工事で、工事区間全線が供用している高速道路へ影響がないように対策をとり、細心の注意を払って工事を行いました。また、工期日数が1,180日の長期工事でしたが、各箇所でも他工事への引き渡し時期が決まっていたので、工程を厳しく管理する必要がありました。周辺はみかん畑に囲まれており、周辺環境への粉塵対策・水質汚濁対策も重要でしたが、無事故・無災害で完了することができ、発注者より高評価を得て、優良事業表彰を受領しました。



（仮称）武蔵野市境二丁目計画新築工事

【発注者：中央日本都市建物株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、三信住建株式会社】

武蔵野は、東京都のほぼ中央に位置する武蔵野市の中でも、住宅としての土地利用が高い場所です。また、大学等の教育施設が集まる文教地区としての側面も有しています。

本事業は、敷地の奥行きを活かした共用部に緑豊かなグリーンプロムナードを配し、東西南北からなる4棟で構成された全130戸の集合住宅を建設するものです。

本工事は、建物4棟を同時施工するため、設備関係の埋設作業と外構の早期着手に努めました。さらに、4棟各工事の調整をはじめ、協力業者の労務状況・人員確保に至るまで、日々綿密な打合せをしながらの施工になりました。



多賀城消防署建設事業建築工事

【発注者：塩釜地区消防事務組合】

宮城県多賀城市は、仙台市の北東側に隣接し、そのベッドタウンとしての機能を果たしています。かつては陸奥の国府が置かれ、文化をはぐくむ史跡のまちとして、また、仙台臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っている地域です。

多賀城消防署は管内唯一の特別救助隊が運用する救助工作車のほか、総務省からの無償使用車両である津波・風水害対策車両を配備しています。

本事業は、老朽化した既存施設を建て替え、多賀城消防署と塩釜地区消防事務組合西部出張所を統合する施設を整備する事業です。多賀城市における災害発生時に、活動拠点となる中枢施設として機能を維持する役割を期待されています。



河津下田道路1号高架橋下部工事

【発注者：国土交通省】

本工事は、静岡県賀茂郡河津町において、伊豆縦貫自動車道の一部を構成する河津下田道路1号高架橋の橋梁下部工を施工するものです。

施工場所の南側には民家があったため、施工方法・養生等を十分検討しなければなりません。土砂および資材を運搬する道路は、国道414号・県道15号線（湯ヶ野松崎線）と道幅が狭く、カーブの多い地域の生活道を使用しなければならず、また、工事用道路は複数の業者との併用になるため、綿密な調整が必要となりました。

そのため、第三者に対する安全対策、環境対策（振動、騒音、粉塵等）、河川への土砂の流出による濁水対策、資材運搬等における交通管理等の対策に重点を置き、施工しました。



那覇港（浦添ふ頭地区）防波堤（浦添第一）（災害復旧）築造工事

【発注者：内閣府】

那覇港は、那覇ふ頭地区、泊ふ頭地区、新港ふ頭地区、浦添ふ頭地区の4つのふ頭地区から形成されています。その中でも浦添ふ頭地区は、セメントや雑工業品を取り扱うRORO船が発着するふ頭として利用されています。

本工事では、2018年9月の台風24号で被災した防波堤の災害復旧として、別件工事にて中抜き撤去した既存の防波堤のケーソン2函分を、新たに挿入据付しました。

ケーソン据付間隔が設計図面より狭く、慎重な据付が求められたこともあり、工事難易度評価「Ⅰ～Ⅵ」中の「Ⅴ」と評価されました。上部コンクリートの施工時に当社の保有技術であるパイプクーリング工法を技術提案し、高品質の施工を行うことができました。



財務諸表 (単体)

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当期 | 前期 |
|----------------|---------------|---------------|
| | (2021.3.31) | (2020.3.31) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 73,931 | 68,294 |
| 固定資産 | 13,743 | 13,610 |
| 有形固定資産 | 8,394 | 8,516 |
| 無形固定資産 | 239 | 166 |
| 投資その他の資産 | 5,109 | 4,927 |
| 資産合計 | 87,675 | 81,904 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 47,066 | 47,291 |
| 固定負債 | 9,725 | 4,797 |
| 負債合計 | 56,792 | 52,088 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 28,922 | 28,028 |
| 資本金 | 11,374 | 11,374 |
| 資本剰余金 | 2,907 | 2,907 |
| 利益剰余金 | 14,953 | 14,058 |
| 自己株式 | △312 | △312 |
| 評価・換算差額等 | 1,960 | 1,788 |
| その他有価証券評価差額金 | 254 | 82 |
| 土地再評価差額金 | 1,705 | 1,705 |
| 純資産合計 | 30,882 | 29,816 |
| 負債純資産合計 | 87,675 | 81,904 |

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当期 | 前期 |
|---------------------|----------------------|----------------------|
| | (2020.4.1~2021.3.31) | (2019.4.1~2020.3.31) |
| 売上高 | 87,091 | 104,783 |
| 売上原価 | 79,271 | 94,763 |
| 売上総利益 | 7,819 | 10,020 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,390 | 5,569 |
| 営業利益 | 2,428 | 4,450 |
| 営業外収益 | 516 | 179 |
| 営業外費用 | 337 | 416 |
| 経常利益 | 2,607 | 4,212 |
| 特別利益 | － | 80 |
| 特別損失 | 8 | 127 |
| 税引前当期純利益 | 2,599 | 4,165 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 973 | 1,155 |
| 法人税等調整額 | △33 | 210 |
| 当期純利益 | 1,659 | 2,798 |

株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 | |
|----------------------|--------|-------|----------|-------|--------|---------|---------|--------------|----------|------------|-------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | 利益剰余金 | | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | | | 資本剰余金合計 | 繰越利益剰余金 | | | | | 利益剰余金合計 |
| 2020年4月1日 残高 | 11,374 | 2,843 | 63 | 2,907 | 14,058 | 14,058 | △312 | 28,028 | 82 | 1,705 | 1,788 | 29,816 |
| 当事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △765 | △765 | | △765 | | | | △765 |
| 当期純利益 | | | | | 1,659 | 1,659 | | 1,659 | | | | 1,659 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 | △0 | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | | | | 172 | － | 172 | 172 |
| 当事業年度中の変動額合計 | － | － | － | － | 894 | 894 | △0 | 894 | 172 | － | 172 | 1,066 |
| 2021年3月31日 残高 | 11,374 | 2,843 | 63 | 2,907 | 14,953 | 14,953 | △312 | 28,922 | 254 | 1,705 | 1,960 | 30,882 |

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目 | 当期 (2021.3.31) | 前期 (2020.3.31) |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 77,787 | 72,387 |
| 固定資産 | 13,686 | 13,481 |
| 有形固定資産 | 9,318 | 9,357 |
| 無形固定資産 | 248 | 171 |
| 投資その他の資産 | 4,119 | 3,952 |
| 資産合計 | 91,474 | 85,869 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 48,594 | 49,338 |
| 固定負債 | 9,035 | 5,089 |
| 負債合計 | 57,630 | 54,428 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 29,786 | 28,738 |
| 資本金 | 11,374 | 11,374 |
| 資本剰余金 | 2,924 | 2,924 |
| 利益剰余金 | 15,800 | 14,752 |
| 自己株式 | △312 | △312 |
| その他の包括利益累計額 | 2,907 | 1,649 |
| その他有価証券評価差額金 | 254 | 82 |
| 土地再評価差額金 | 1,705 | 1,705 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 947 | △138 |
| 非支配株主持分 | 1,150 | 1,053 |
| 純資産合計 | 33,844 | 31,441 |
| 負債純資産合計 | 91,474 | 85,869 |

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科 目 | 当期 (2020.4.1~2021.3.31) | 前期 (2019.4.1~2020.3.31) |
|------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 売上高 | 89,822 | 107,830 |
| 売上原価 | 81,230 | 96,877 |
| 売上総利益 | 8,591 | 10,953 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,673 | 5,914 |
| 営業利益 | 2,917 | 5,039 |
| 営業外収益 | 435 | 132 |
| 営業外費用 | 342 | 425 |
| 経常利益 | 3,011 | 4,746 |
| 特別利益 | 2 | 42 |
| 特別損失 | 8 | 132 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,006 | 4,656 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,119 | 1,367 |
| 法人税等調整額 | △25 | 198 |
| 当期純利益 | 1,912 | 3,090 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 99 | 127 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,812 | 2,963 |

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------|-------|--------|------|--------|--------------|----------|--------------|---------------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 2020年4月1日 残高 | 11,374 | 2,924 | 14,752 | △312 | 28,738 | 82 | 1,705 | △138 | 1,649 | 1,053 | 31,441 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △765 | | △765 | | | | | | △765 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,812 | | 1,812 | | | | | | 1,812 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | | 172 | - | 1,086 | 1,258 | 97 | 1,355 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | - | 1,047 | △0 | 1,047 | 172 | - | 1,086 | 1,258 | 97 | 2,403 |
| 2021年3月31日 残高 | 11,374 | 2,924 | 15,800 | △312 | 29,786 | 254 | 1,705 | 947 | 2,907 | 1,150 | 33,844 |

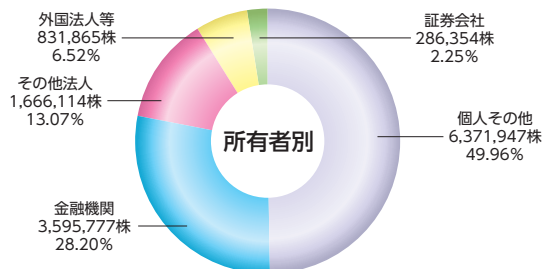
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 12,964,993株
 株主数 8,656名
 大株主

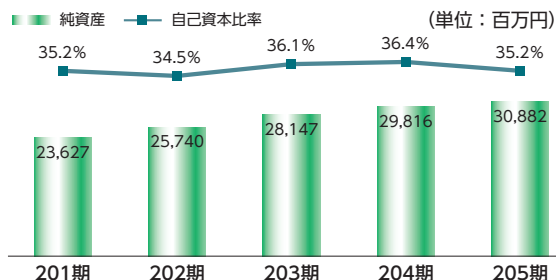
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率 |
|-------------------------|---------|-------|
| 若築建設協力会社持株会 | 875,744 | 6.87% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 731,800 | 5.74 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 527,600 | 4.14 |
| 株式会社麻生 | 482,400 | 3.78 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 403,400 | 3.16 |
| 株式会社三井住友銀行 | 315,025 | 2.47 |
| 若築建設従業員持株会 | 294,583 | 2.31 |
| 株式会社千葉銀行 | 292,242 | 2.29 |
| 山内正義 | 236,100 | 1.85 |
| 公益財団法人石橋奨学会 | 206,050 | 1.62 |

(注) 持株比率は自己株式(212,936株)を控除して計算しております。

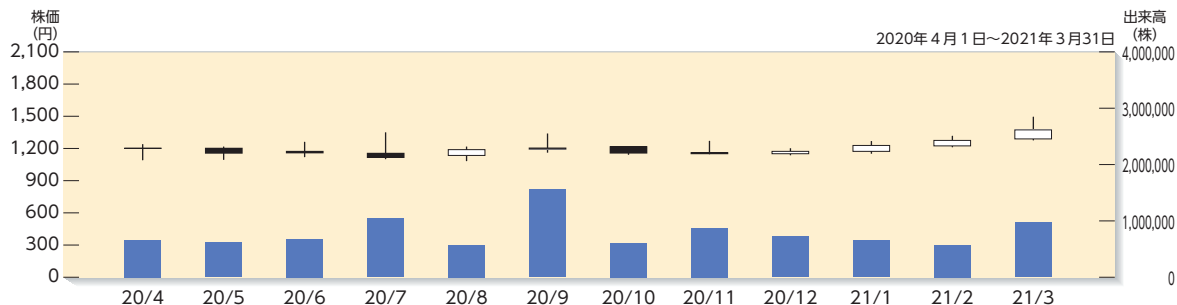
株式の分布状況



純資産・自己資本比率



株価チャート



役員 (2021年6月25日現在)

【執行役員】

| | | | | |
|--------|------|--------|-------|-------|
| 執行役員社長 | 烏石 梶 | 田井原 下村 | 克己 康弘 | 彦己 之幸 |
| 専務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 専務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 専務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 常務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 常務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 常務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 常務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 常務執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 執行役員 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |

【取締役】

| | | | | |
|---------|------|--------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 烏石 梶 | 田井原 下村 | 克己 康弘 | 彦己 之幸 |
| 代表取締役 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 取締役 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 取締役 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 取締役 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |
| 取締役 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 | 梶 中 |

【監査役】

| | | | |
|-------|-------|-----|-----|
| 常勤監査役 | 佃 前 森 | 敏 郎 | 克 典 |
| 常勤監査役 | 佃 前 森 | 敏 郎 | 克 典 |
| 監査役 | 佃 前 森 | 敏 郎 | 克 典 |

(注) 取締役のうち朝倉康夫、原田美穂の両氏は、社外取締役であります。
監査役のうち前田克典、森本昌雄の両氏は、社外監査役であります。



本店・九州支店 および わかちく史料館

会社概要 (2021年4月1日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | 若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.) |
| 創業 | 明治23年(1890年)5月23日 |
| 資本金 | 11,374百万円 |
| 従業員 | 775名 |
| 事業所 | |
| 本店 | 〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 761-1331 |
| 東京本社 | 〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0271 |
| 東北支店 | 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目10番28号 TEL (022) 221-4325 |
| 千葉支店 | 〒260-0027 千葉市中央区新田町4番22号 TEL (043) 242-2245 |
| 東京支店 | 〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号 TEL (03) 3492-0811 |
| 横浜支店 | 〒231-0015 横浜市中区尾上町一丁目6番 TEL (045) 662-0814 |
| 北陸支店 | 〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番23号 TEL (025) 241-1242 |
| 名古屋支店 | 〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番20号 TEL (052) 201-5321 |
| 大阪支店 | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 TEL (06) 6261-6736 |
| 中国支店 | 〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号 TEL (082) 248-1810 |
| 四国支店 | 〒760-0071 高松市藤塚町一丁目2番1号 TEL (087) 833-7347 |
| 九州支店 | 〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 TEL (093) 752-3510 |
| 福岡支店 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目13番9号 TEL (092) 483-5307 |
| 海外事業所 | ジャカルタ事務所 (インドネシア共和国) コロンボ事務所 (スリランカ民主社会主義共和国) ハノイ事務所 (ベトナム社会主義共和国) マレ事務所 (モルディブ共和国) |
| わかちく史料館 | 〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 当社本店3階 TEL (093) 752-1707 開館時間 午前10時～午後4時 休館日 毎週月曜日・祝祭日・年末年始 入館料 無料 |

株主メモ

| | |
|--|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 株主名簿管理人事務取扱場所 | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) (ホームページURL) | ☎ 0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告方法 | 当社のホームページ (https://www.wakachiku.co.jp) に掲載する。ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する。 |
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所 |

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記電話照会先をお願いいたします。



<https://www.wakachiku.co.jp>



豊かな未来へ 技術のメッセージ

若築建設

〒153-0064

東京都目黒区下目黒二丁目23番18号

TEL 03-3492-0271 FAX 03-3490-1019

